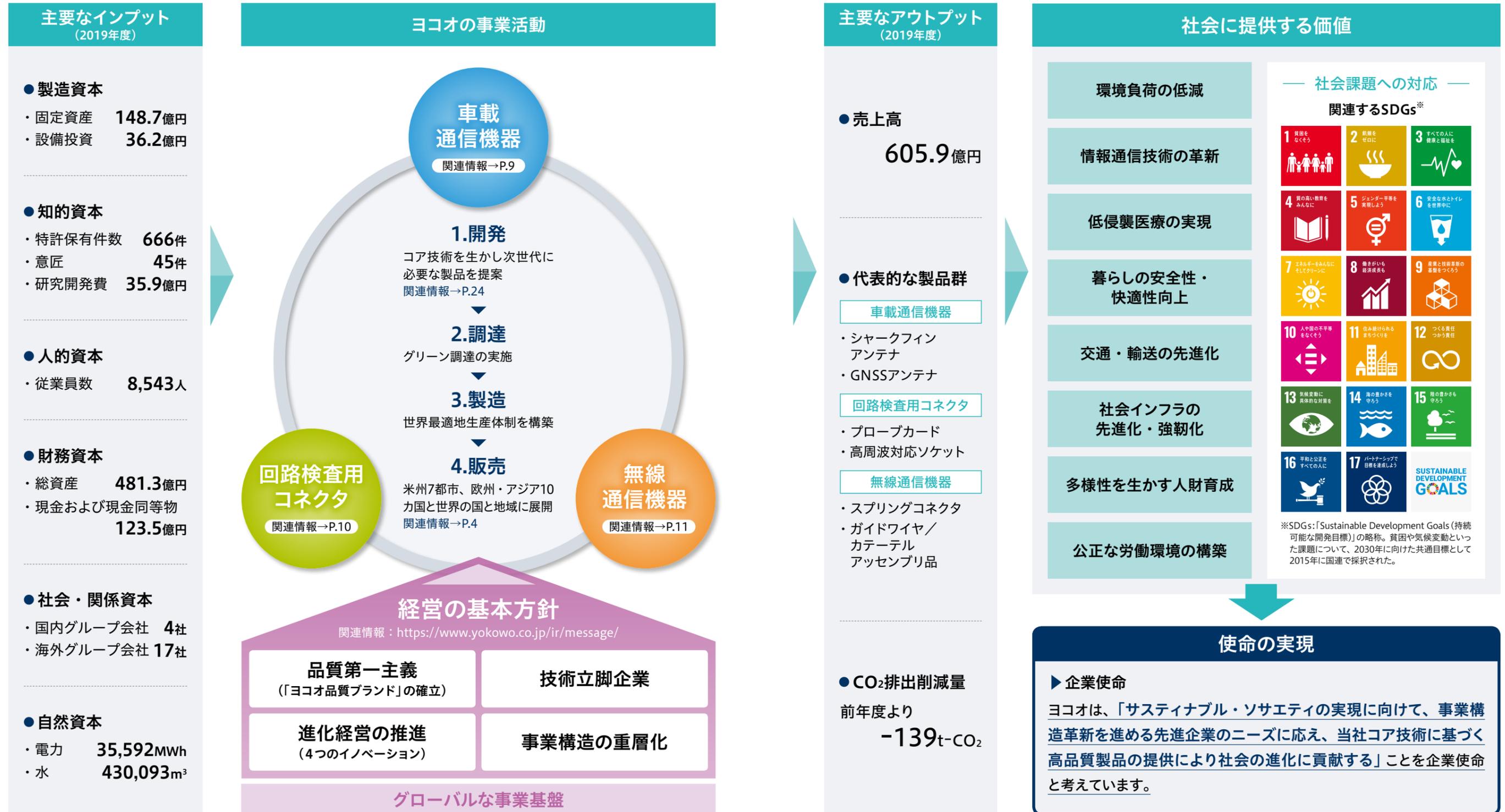


ヨコオの価値創造プロセス

当社グループは、「6つの資本」を活用しながら、コアコンピタンス（微細精密加工／高周波／先端デバイス）を重層的に組み合わせることで、社会に価値を提供しています。これからも、4つの経営の基本方針を柱とした事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指し、当社らしい価値創造に努めていきます。



経営の基本方針

関連情報：<https://www.yokowo.co.jp/ir/message/>

品質第一主義 (「ヨコオ品質ブランド」の確立)	技術立脚企業
進化経営の推進 (4つのイノベーション)	事業構造の重層化

グローバルな事業基盤

使命の実現

▶ 企業使命

ヨコオは、「サステイナブル・ソサエティの実現に向けて、事業構造革新を進める先進企業のニーズに応え、当社コア技術に基づく高品質製品の提供により社会の進化に貢献する」ことを企業使命と考えています。

ヨコオのものづくり

当社グループは、微細精密加工技術、アンテナ技術、マイクロウェーブ（高周波）技術などのコア技術を深掘りしながら最先端の技術を積極的に取り込み、世界のリーディングカンパニーへ多彩な独創的製品を提供しています。また、高水準のQCDSを実現するため、日々生産プロセスの革新を推進しています。

最先端の研究開発

基礎研究

マイクロウェーブ技術

自動運転・5G（第5世代移動通信システム）が進展する中、車載通信・半導体分野におけるマイクロウェーブ技術の重要性がますます高まっています。当社は通信・半導体検査の両面から世界最高水準のマイクロウェーブ技術の確立を進めています。

プロセス開発

微細精密加工

世界最高水準の微細精密加工技術に加え、精密メッキ、MEMSプロセスの競争力強化を進めています。

生産プロセス

主要な要素技術は全て自社生産技術部門が開発しており、生産・品質管理へのAI適用も進めています。

設計プロセス

3次元CAD情報を多重に活用した設計からメンテナンスまでの一貫システムの確立を進めています。

製品化研究

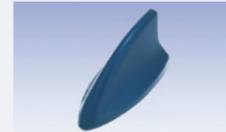
研究開発部門・プロセス技術部門および新製品開発・事業化を担う部門が密接に連携する体制を整えています。また、他社や大学などとも連携して先端技術を取り入れ、製品進化と事業重層化を推進しています。

応用研究

- 無線技術・ソフトウェア開発力を活用した社会プラットフォーム構築に関わるシステム提案
- 自動運転・5Gの進化に不可欠な半導体デバイスに組み込まれた無線アンテナ機能自動検査技術と高速光通信デバイス・コネクタの開発
- ターンキー型半導体検査用治具システム提案

重層化が進む製品

車載アンテナ製品群



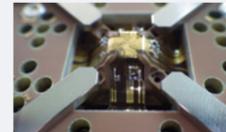
ソフトウェア応用製品群



半導体検査製品群



高周波デバイス検査製品群



電子機器用コネクタ製品群



医療用機器製品群



製品を展開する分野

拡大・強化分野



車載アンテナ
● 自動運転



半導体検査用治具
● 5G ● ターンキー



電子機器用コネクタ
● 小型/低背/防水/大電流



医療用機器
● 精密部品 ● アッセンブリ品

戦略的育成分野



社会プラットフォーム
● シェアカー ● ドローン



高周波デバイス検査
● アンブ ● フィルター



光通信
● コネクタ ● 光電変換



精密メッキ
● 湿式 ● 乾式

世界一の高周波・無線応用・精密部品メーカーへ

ヨコオのマテリアリティ

ヨコオは2020年、グループとしてのマテリアリティを特定しました。これは、経営者の思いと事業活動を通じた社会への貢献を明文化したもので、「ヨコオをいい会社にしていく」という経営者の思いが込められています。イノベーションの推進や、ビジネスモデルの革新によって事業を発展させ、環境・社会・多様性へ貢献します。

「ヨコオをいい会社にしていく」3つの思い

- 1 お客さまとお客さまに、ヨコオと取引して良かったと思われる会社
- 2 社会（地域社会含む）とお取引先さまに、ヨコオがいてくれて良かったと思われる会社
- 3 従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて良かったと思われる会社

マテリアリティ特定プロセス

特定のプロセスは以下の通りです。

- ①経営方針、中期経営計画、SASB業界別マテリアリティなどより、自社あるいはステークホルダーが重要と判断するテーマをリストアップ
- ②事業部長・戦略本部長とのワークショップによるテーマの絞り込みと到達目標の設定
- ③社外取締役・社外監査役を含む取締役会による検討を加え、項目とKPIを承認
- ④CSR課題との関連を整理し、特定結果を統合レポートやホームページ上で明示

①お客さまとお客さまに、ヨコオと取引して良かったと思われる会社

- 最高品質と有害化学物質ゼロ指向による「ヨコオ品質ブランド」の確立
 - 新5S (Simple, Slim, Small, Short, Smooth) 思想とAIによる生産プロセス革新による高品質、高生産性、環境負荷低減の両立
 - 世界トップクラスの微細精密加工技術・高周波技術の深化/進化を推進する研究開発体制の強化と、超小型・低消費電力製品開発による環境負荷の低減
 - アンテナ・ソフトウェア技術を活用したMaaS分野などへの参入
 - F0会議をはじめとする品質向上活動の推進
 - PLMによる技術の統合管理とデジタルツインを活用した品質事前検証機能の高度化
 - 事業活動を通じた環境負荷低減
 - プラスチック成型でのリサイクル材活用推進/廃棄物削減
 - 梱包材、輸送パレットの脱プラスチック・生分解性プラスチックへの転換
 - 切削油などの循環使用(大学との共同研究)
 - グリーン調達ガイドラインの制定と運用
- 疾病・難病治療への貢献
 - 世界トップクラスの微細精密加工技術・高周波技術を応用した革新的医療用具の創出
 - 産学オープンイノベーション(群馬大学・筑波大学・東海大学・神戸市立医療センター・UCLAなど)
 - 大学・病院・ベンチャーなどとのエコシステム構築(ベンチャーエコシステム)
- 生物多様性保全への貢献
 - 気候変動への対応(GHG排出量の削減)
 - 水資源管理(水使用量の削減、排水の質向上)
 - 資源リサイクル(廃棄物量の削減、ゼロエミッションの推進)
- コンプライアンス・ガバナンスの強化
 - リスクマネジメントの強化(事業リスク管理委員会の設置、主要リスクの開示)
 - 公正な市場競争の実現(グループ規程の制定と遵守状況モニタリング)
 - 汚職、賄賂、反競争的行為の回避



【活動テーマ】 環境

②社会(地域社会含む)とお取引先さまに、ヨコオがいてくれて良かったと思われる会社

- コミュニティ/地域社会との対話と発展への貢献
 - 地域住民の雇用
 - 地方自治体への寄付、地域イベントへの協賛
 - 富岡市、東京都北区へのコロナ対策医療現場支援寄付金
 - 富岡工場周辺のゴミ拾い活動
 - エコキャップ活動への参加
 - 富岡市教育基金、富岡世界遺産展示物維持管理
 - 群馬大学産学連携協定
 - 富岡ロータリークラブを通じ、米山記念奨学金、災害支援金を拠出
 - 富岡商工会議所を通じ地域課題解決を市政と連携し推進
 - 小中高等学校への教育支援
 - 海外人材の富岡地区就業者拡大(TISP)を通じた地域活性化への貢献
- サプライチェーンにおける社会的責任の遂行
 - 公平公正な選定、下請法の遵守
 - イコールパートナーとしての関係構築
 - 不正鉱物資源排除などのチェック体制構築(紛争鉱物の監視体制)
 - 生産拠点の重層化(車載通信機器セグメント：第3拠点の開設)
 - 切れない供給網の構築(複線化・ネットワーク化)
 - 2次、3次サプライヤーへの支援体制強化
- グローバルBCP体制確立と不断のテストによる実効性向上
- 児童労働、不正鉱物資源排除などの現地政府・NPOなどと連携したチェック体制構築



【活動テーマ】 地域社会

③従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて良かったと思われる会社

- 従業員の多様性と包摂性の推進、進化
 - TISP(富岡・インターナショナル・スペシャリスト・パーク)構想の推進
 - 海外のスペシャリスト人材を100名規模で採用し、海外人材との協働が当たり前に進められる事業運営プロセスの確立を通じて、多様性を生かした事業活動の活性化や生活環境の整備を通じた地域との交流・活性化に貢献する。
 - 女性活躍ステージの拡充、進化
 - 改正女性活躍推進法にのっとり行動計画の改定・推進とPDCAサイクルによる拡充、進化
 - 次世代育成支援対策法にのっとり行動計画の改定・推進とPDCAサイクルによる拡充、進化
 - 社内保育所設置によるワークライフバランス改善
 - 年齢にかかわらず活躍できる職場環境の整備
- 働きがいのある魅力的な職場環境の実現
 - テレワーク定着によるワークライフバランス改善
 - 有給休暇取得促進によるワークライフバランス改善
 - 傷病疾病予防治療支援拡充による従業員満足度の拡大
 - 社会貢献も対象に含めた表彰制度の創設
 - 交流会(製品技術・生産技術・QC)
 - グローバル昇進・処遇制度の創設
 - 先端技術研究開発センター設立による技術者にとって魅力的な環境
 - AIなど先端技術学習機会の提供(大学院教育・ビジネススクール・外部研究機関)
- 海外拠点現地採用社員の日本での長期研修・実習制度の拡充による実務能力養成と、日本人社員の彼らとの交流によるビジネスマインド強化



【活動テーマ】 多様性と包摂性

より高次元の事業活動と社会貢献
GO BEYOND~Challenge the Next Stage~

▼ マテリアリティの達成目標

2030年目標				
マテリアリティ	評価指標	目標値		
① お客さまとそのお客さまに、ヨコオと取引している 良かったと思われる会社	最高品質と有害化学物質ゼロ指向による「ヨコオ品質ブランド」の確立	知財に裏付けられた革新的医療用具創出数(年間)	5件	
		微細精密研究所・高周波研究所などの設立	設立	
	疾病・難病治療への貢献	患者数が少なく治療方法未確立の難病分野への治療手段提供数(年間)	3件	
	生物多様性保全への貢献	GHG排出量(原単位)	2020年度比10%削減	
		水使用量(原単位)	2020年度比10%削減	
		廃棄物発生量(原単位)	2020年度比10%削減	
	コンプライアンス・ガバナンスの強化	重大なコンプライアンス違反発生件数(年間)	0件	
		研修受講率(年間)	100%	
	② 社会/地域社会を含む お取引先さまに、ヨコオがいて くれて良かったと思われる会社	コミュニティ/地域社会との対話と発展への貢献	地域社会貢献事業の実施数(年間)	10件
		サプライチェーンにおける社会的責任の遂行	下請法違反件数(年間)	0件
グローバルBCP体制確立と不断のテストによる実効性向上		BCP戦略に基づく海外/国内生産ベストミックス	BCP認証取得	
児童労働、不正鉱物資源排除などの現地政府・NPOなどと連携したチェック体制構築		自社チェック+各国NPOと連携した積極的な適正労働施策推進への貢献	NPO連携活動年間5件	
③ 従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて 良かったと思われる会社	従業員の多様性と包摂性の推進、進化	女性リーダー比率(係長以上リーダーの全女性従業員数における割合)	男性と同水準	
		年齢にかかわらず活躍できる職場環境の整備	就労年齢制限70歳+α	
		TISP採用者数	120名	
	働きがいのある魅力的な職場環境の実現	障がい者雇用比率	法定比率の1.5倍	
		有給休暇取得率(年間)	90%	
		社内保育所設置数	3件	
		社内労働災害件数(年間)	2件	
海外拠点現地採用社員の日本での長期研修・実習制度の拡充による実務能力養成と、日本人社員の彼らとの交流によるビジネスマインド強化	海外長期研修生受け入れ人数(年間)	20名		

VOICE

医療業界の課題を解決し
SDGs達成に貢献する
ベンチャー・エコシステムの
構築に向けて



執行役員 MD事業部長
井下原 博

「ヨコオをいい会社にしていく」。これは、当社社長の徳間が常に口にする言葉であり、役員および従業員が日ごろ判断する際の指針となっている価値観です。当社のメディカル・デバイス(MD)事業は2006年よりスタートしました。事業立ち上げをリードしたのが、当時、新事業を含む経営企画担当役員も務めていた徳間現社長です。そこには、「当社のコア技術を直接的に社会貢献に結びつけたい」という強い思いがありました。私は、2017年にMD事業部長を任ぜられました。「事業を通じて社会に貢献し、その一翼を担っている充実感を従業員一人ひとりに感じてもらいたい」。そうした思いを抱く一方、当社単独でそれを実現する難しさを実感していました。

そのような状況の中で出会ったのが、株式会社Biomedical Solutionsの代表を務める正林和也氏です。正林氏と日本の医療業界について意見交換をする中で、「日本は医療機器ベンチャー育成が遅れている」「日本の医療業界は輸入品に依存している」などの課題を共有し、その解決に向けて協力していく方向で一致しました。

私自身のベンチャー投資、M&Aを実施してきた経験なども持ち寄りながら議論を進める中、2018年に、正林氏が内閣官房主催の次世代医療機器開

発推進協議会で“国内医療機器開発における体制構想”として、ベンチャー・エコシステムを提言しました。当社はその提言に全面的に賛同し、ベンチャーの革新的な製品アイデアを具現化する製造パートナーを担うことを決定しました。

正林氏、大学、ベンチャーキャピタルが構想を進める中で数多くの製品アイデアが生まれており、革新的な開発案件を中心に、難病治療に関わるものも多く含まれています。当社も、2020年において、医療機器ベンチャー3社(2社出資済み、1社出資検討中)と協業を開始しており、年内はさらに数社との協業を開始する予定です。この取り組みは、当社MD事業における重要な将来戦略の一つと位置付けています。

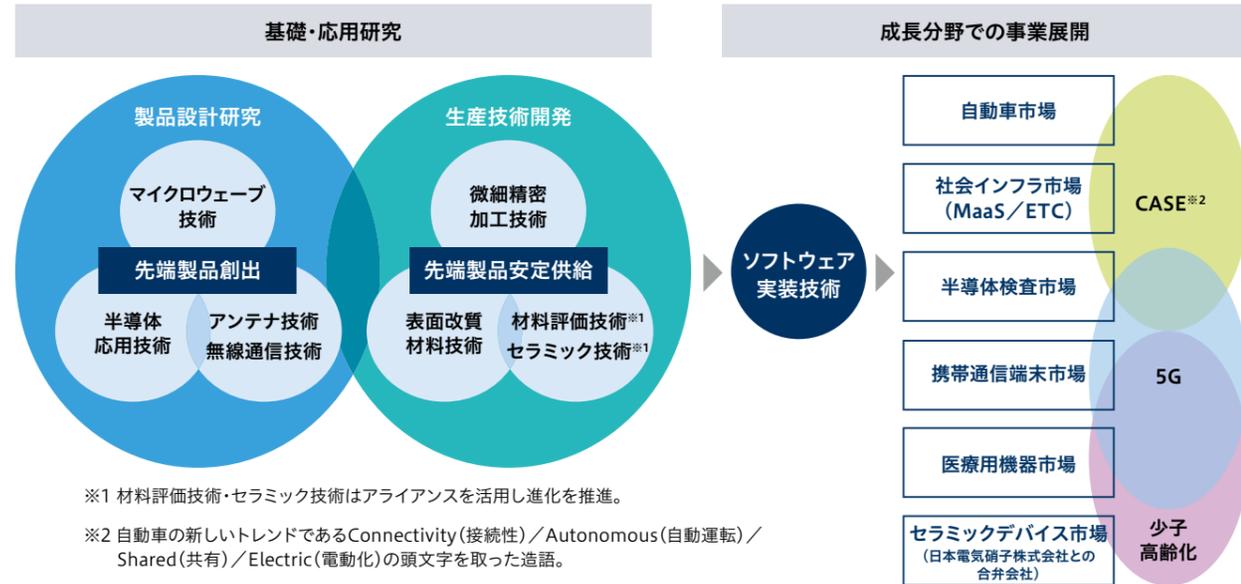
本取り組みについて社外取締役からは「ベンチャー・エコシステム自体がSDGsの根幹」という言葉をいただいています。事業部のメンバーも、通常業務以上に社会貢献を実感でき、充実感を得られていると口々に話しています。私自身も、“より良い会社”と“より良い社会”の双方の実現につながる取り組みだと確信しています。

これからも事業責任者として、医療業界に携わる多くの方々と協業しながら、ベンチャー・エコシステムの成功に貢献していきたいと思っております。

研究開発

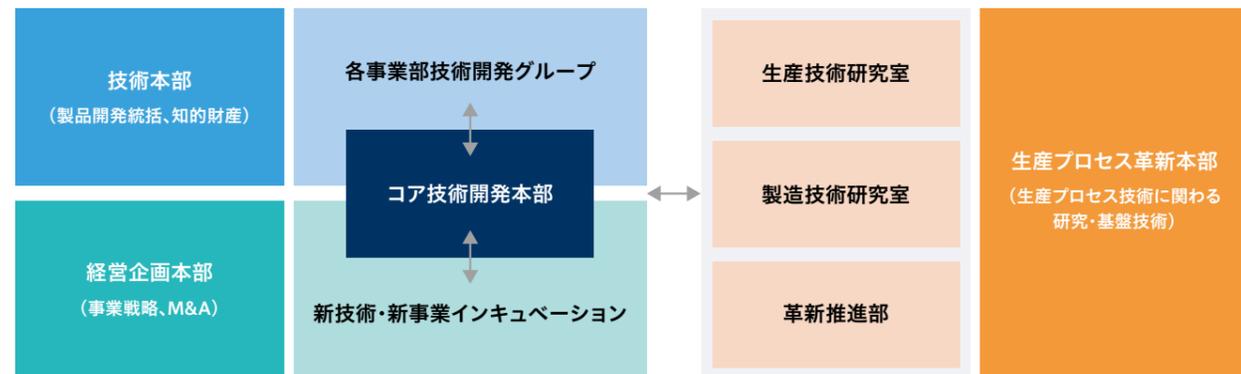
当社グループは、微細精密加工技術／マイクロウェーブ（高周波）技術／アンテナ技術／表面改質材料技術／半導体応用技術の5分野を、事業競争力を支えるコア技術と定めています。各技術の深化と複合化により事業の重層化を進め、先端製品を創出していきます。

研究開発方針



基礎・応用研究においては、「製品設計に関わる研究開発」と「製品生産に関わる研究開発」を車の両輪と位置付けています。両者をシンクロナイズさせることで先端製品の創出と、お客さまへの安定供給を実現しています。

研究開発体制

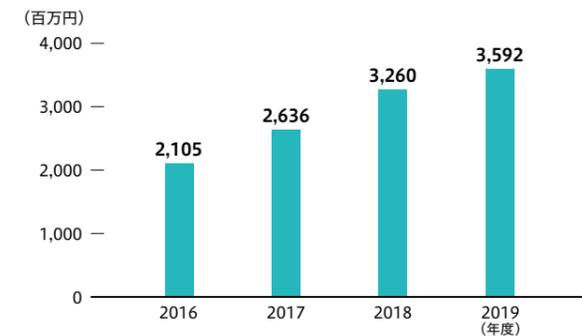


高周波技術、微細精密加工技術、MEMS技術など当社製品の競争優位に必要な技術の研究開発はコア技術開発本部が担当するとともに、新製品に関わる応用開発は各事業部技術部が担当し、製品開発全体を技術本部が統括しています。また、生産プロセスに関する研究は生産プロセス革新本部が担当し、新技術・新事業のインキュベーションは経営企画本部が担当しています。

研究開発投資

当社グループでは、「全社成長戦略」に基づき、コア技術を核に、研究開発部門、事業部技術部門および現地開発拠点が丸となって研究開発を推進しています。特に技術集積度がより高く付加価値の高い製品展開に重点を置き、新技術および新製品の研究開発に注力しています。2019年度は、研究開発費として35億9千2百万円を投じており、積極的に研究開発活動を強化していく計画です。

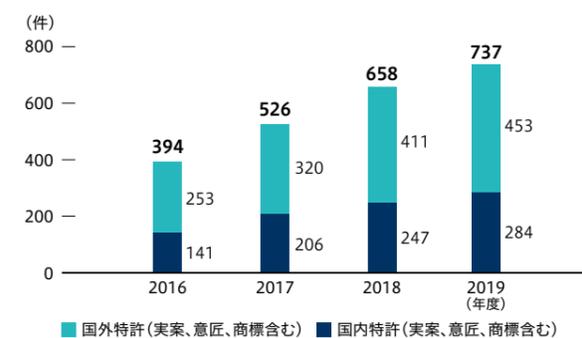
▼ 研究開発費推移



知的財産権

知的財産について注力する事業分野や事業展開を見据え、国内外の保有特許を確実に増やし、ライセンスなども積極的に活用することで、事業戦略の要である知的財産の基盤を強化しています。

▼ 特許保有件数推移



主要な研究開発テーマ

中長期的に、当社主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯通信端末市場、医療用機器市場は、プラグインハイブリッド／電気自動車などの新型の環境対応車や、ADAS(先進運転支援システム)／自動運転などの進展、5G(第5世代移動通信システム)に代表される次世代高速・大容量通信など新規半導体需要の顕在化、ウェアラブル端末など次世代製品の普及、低侵襲医療の浸透や遺伝子検査技術の高度化により、市場の拡大が予想されます。上記市場に関わる各セグメントの主要な研究開発テーマは以下の通りです。

車載通信機器

- ADAS・自動運転に不可欠なV2X(車車間、道路／車間、歩行者／車間)用アンテナシステム
- CASE時代に向けた通信システム・機器・デバイスの技術開発

回路検査用コネクタ

- 大電流化に対応したICや高速高周波IC検査用ソケットの開発
- プローブ表面の改質技術など高性能化・高耐久化に関する研究開発
- 半導体狭ピッチ化・多ピン化・高速高周波化のロードマップに歩調を合わせた新規プローブカードの開発

無線通信機器

【ファインコネクタ事業】

- 高定格コネクタの開発
- 高速光通信に対応する光コネクタの開発

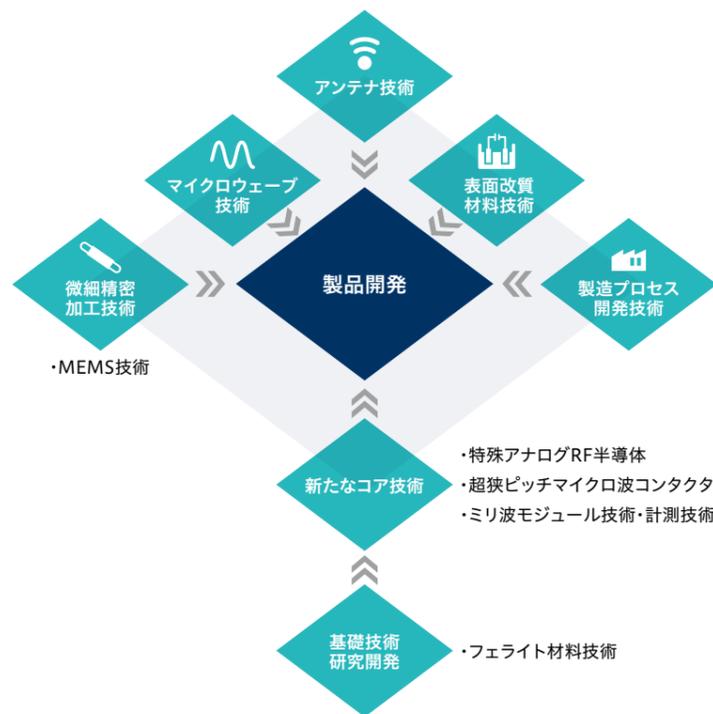
【メディカル・デバイス事業】

- 微細精密加工技術およびマイクロウェーブ技術を応用した日米の大学・医療機関と新たな低侵襲の医療用機器や検査システムの共同開発

製品技術

当社グループは、長年にわたり蓄積してきた独自の技術力を基盤に、革新的かつ多彩な製品を開発し、世界の電子・電機・自動車メーカーなどに提供しています。

独自技術の融合による独創的製品開発



コア技術である微細精密加工技術／マイクロウェーブ（高周波）技術／アンテナ技術／表面改質材料技術、そして、より効率的に製品を生産するための「製造プロセス開発技術」を融合することで、独創的な製品開発を実現しています。また、技術力の深化・蓄積を進めるとともに新たなコア技術の基礎研究開発も推進しています。

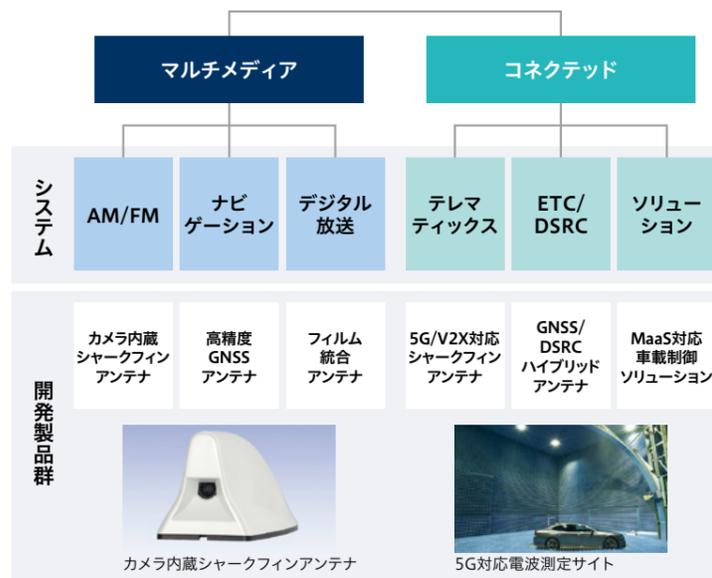
こうした独自の技術により車載アンテナ、半導体・電子部品検査用具、電子機器用コネクタ、医療用デバイスなど革新的かつ多彩な製品を製造し、「自動車市場」「半導体検査市場」「携帯通信端末市場」「医療用機器市場」へ提供し続けています。

自動車市場

車載アンテナに求められる小型化・複合化・低背化・スマート化といったニーズに応えるため、長年培ったアンテナ技術・マイクロウェーブ技術に加え、モジュール化技術を駆使し、次世代の車載通信を支えるアンテナシステムを開発しています。

また、電磁界シミュレーターや5G通信におけるミリ波周波数（～40GHz）の測定に対応した電波測定サイトなどの最新鋭設備を取りそろえるとともに、世界最高水準の技術力を駆使して、業界をリードする革新的な製品を製造しています。

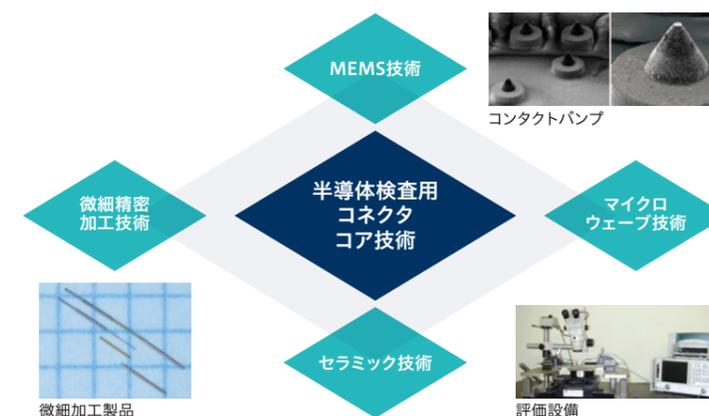
▼車載通信機器セグメント展開領域



半導体検査市場

半導体や電子部品は、これまで以上の高速化・高周波化・高集積化が求められ、検査プロセスにおいても同様の対応が求められています。当社は、長年培った微細精密加工技術とマイクロウェーブ技術に加え、MEMS技術を駆使することで、高速・高周波および前工程・後工程検査プロセスの全ての領域における製品をグローバルに開発・提供しています。

▼回路検査用コネクタセグメント展開領域



携帯通信端末市場

急速に拡大する携帯通信端末市場において、コネクタは着脱性・低背省スペース化のニーズが高まり、業務用情報端末機器においては着脱耐久性・耐環境性がより一層重要になってきています。当社が独自に開発したスプリングコネクタは、こうした市場ニーズを的確に捉え、さまざまな用途に使用され急速に普及が進んでいます。

▼スプリングコネクタの特徴と主な用途



医療用機器市場

微細精密加工、コーティング、アッセンブリ、製品設計・評価などの技術を駆使し、低侵襲医療分野のOEMガイドワイヤ／カテーテルなどの製品を開発しています。設備・製造ラインも自社内に完備し、製品加工から完成品組み立て、親水性コーティング、梱包・滅菌まで、一貫したサービスを提供します。アッセンブリ工程においては、用途に応じてさまざまな接合方法を選択可能です。

